



岩手町立 川口保育所

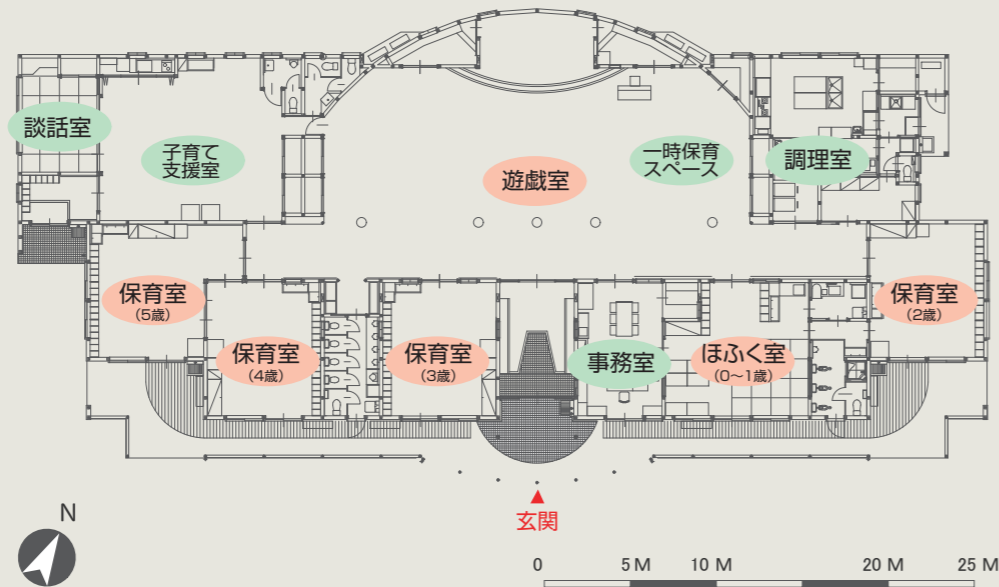
施工地 / 岩手県岩手郡岩手町大字川口
第16地割字東館前26-4
竣工年月日 / 平成19年4月
敷地面積 / 4,833.11㎡
構造 / W1階
延床面積 / 693.15㎡

子どもの成長を見守り続ける施設づくり

この施設の特徴として、保育所と子育て支援センターの併設により、在宅子育て支援や学童保育支援サービスが1施設で行なうことができるようになりました。

そして、親がわりとしての保育士のみなさんが幼児期から小学生までの成長過程を見守り、よき相談相手として地域全体の子どもの調和を計れる施設計画といたしました。

平面図 a plan



開放的な保育環境を目指して

園舎の中央に位置する遊戯室は、元気に駆け回る子どもたちの活動の場となります。園児たちが日々伸びやかに生活するスペースとして、トップサイドライトから自然の光を十分に取り込める、開放感溢れる空間としました。また、みんなで弁当を食べたり、地域交流や保護者のミニ集会、発表会の控え室など、多目的でオープンな用途に使用できる環境としています。

保育室も三面からの出入り口を設けることにより、明るく開放感一杯の室内となりました。また、遊戯室との境を4枚の引き戸で仕切る事により、発表会などの臨時客席にも一体利用が可能な空間として対応できるようにいたしました。

安心で快適な環境づくり

子どもたちが係る出入り口には引き戸を採用するほか、サッシなどの指詰め処理や、園舎内の出隅部分は衝突時の安全に配慮し、丸みをもたせるなどの生活事故を未然に防ぐための安全環境の整備にも配慮しました。

また、園舎内の暖房は床暖房方式を採用し、やけどなどの事故を防ぐとともに、日々子どもたちが自由に寝転んだり、座って手遊びをしたりなどの行動の巾が広がるような空間づくりを目指しました。

地域と共に作る セキュリティーの提案

管理部門となる事務室を園舎入り口の内部と外部、どちらも見渡せる位置に配置することで、園地内への来客者を一元的に確認するとともに、園舎及び園庭全体の気配が感じ取れるようにしました。

また、外部との境は塀によって囲い込むのではなく、垣根にすることにより周辺からの視認性をよくし、地域の目による地域ぐるみの防犯が行える計画を目指しました。

前面道路沿いには、送迎車待避所を設けることで子どもたちの登下校時の安全と、アクセスの明確化を図るなど、日々園児や保護者の皆様が安心して利用していただけるよう、様々な面でセキュリティーの提案を行っています。



外観



ほふく室(0~1歳)



遊戯室



遊戯室(ステージ)



子育て支援室